

公安委員会定例会議(第22回)の開催状況

第1 日 時 令和8年9月2日(水)
午後2時10分 ～ 午後4時01分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、
交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長、
刑事企画課長、総務課長

第3 議事の概要

1 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議会議録

総務室から、令和8年第21回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

(3) 警察署協議会委員欠員補充候補者の決定

総務室から、警察署協議会委員欠員補充候補者の決定について伺いがあり了承した。

2 報告事項

(1) 子ども参観日の開催

警務部長から、子ども参観日の開催について報告があった。

委員から「子どもが親の職業を理解し憧れることは、将来の警察官の希望者を増やす意味でも大変良い取組である。今後も継続していただきたい」との発言があった。

委員から「子どもにとっては夏休みの貴重な思い出になり、付添いの家族にとっては、妻や夫の仕事を理解する良い機会となる素晴らしい取組とを感じる」との発言があった。

委員から「子ども参観日を通じて、警察官や警察職員になりたいと考える子どももいると思われ、最良のリクルート活動といえる。是非とも継続して開催していただきたい」との発言があった。

(2) 児童福祉司による愛媛県青少年保護条例違反事件の検挙

生活安全部長から、児童福祉司による愛媛県青少年保護条例違反事件の検挙について報告があった。

委員から「テレビでも大きく取り上げられた耳目を集める事案である。適正な捜査を推進し、全容解明に努めていただきたい」との発言があった。

委員から「徹底した捜査を行うとともに、被害者に対するカウンセリング等の支援を的確に実施していただきたい」との発言があった。

委員から「子を守るべき立場の者による犯罪であり、大変ショックを

受けた事案である。法律に照らして徹底した捜査をしていただきたい」との発言があった。

(3) 「交通安全みまもりBOX」の開設

交通部長から、「交通安全みまもりBOX」の開設について報告があった。

委員から「寄せられる情報が、高齢者の事故抑止に繋がることを期待する」との発言があった。

委員から「集約した情報をもとに、自治体や民生委員等とも連携しつつ、夜間の事故防止に有用な反射材の普及促進にも努めていただきたい」との発言があった。

委員から「高齢者を事故から守るための良い制度であると感じる。交通事故防止に繋がる情報が集まり、効果的な運用となることを期待する」との発言があった。

(4) 「警備警察職場体験会」の開催結果

警備部長から、「警備警察職場体験会」の開催結果について報告があった。

委員から「警察の仕事を具体的にイメージすることができる良い企画だと感じる。今後も継続していただきたい」との発言があった。

委員から「警備部の仕事にスポットを当てたことで、災害や警護などの業務への理解が深まる良い体験会であったと感じる。警察官の採用に繋がることを期待する」との発言があった。

委員から「高校生にとって、8月は進路を判断する重要な時期であり、そのタイミングでの開催は効果的である。暑さの厳しい中での開催であったが、警察官のキビキビとした姿は、参加者にとって良い刺激となる貴重な体験会であったと感じる」との発言があった。

(5) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(6) 六代目山口組傘下組員らに対する暴排条例違反の適用（勧告）調査

刑事部から、六代目山口組傘下組員らに対する暴排条例違反の適用（勧告）調査について報告があった。

以 上